

エミリーの 見て歩き

No. 4

「異動制度について」

寒い冬が終わり、すっかり春らしくなってきました。日本の美しい桜の花見が楽しみです。それとともに、入学式や入社式、それぞれの会社と役所でいわゆる人事異動などに伴い、四月よりの行事がたくさんあります。自然に決まった桜の咲く時期と同じように、日本ではいろいろな社会的に決まっていることが多いと感じています。

「入社式」

東京に留学した時、入社式ということが存在するのを初めて知りました。日本では、大学の卒業式に合わせて、新社員を採用する会社が少なくないと思います。カナダではこういう「採用時期」は全くないので、大変驚きました。もちろん、大学生は卒業する前にできるだけ就職活動しますが、卒業するまでに就職できなくても、日本ほど大した問題でもないのです。それは、カナダでは、会社の社員不足があれば、いつでも採用し、年中採用制度があるからです。この間、新聞で就職できなくて、また一年間大学に残ることをするしかない大

学生についての記事を読んで、非常に不思議だと思えます。なぜなら、カナダでは卒業していたら、就職できなくても、大学に残ることはとてもありえないことからです。カナダの大学生は卒業直後に、大学に残るより、または就職するよりも、旅行をしたり、バイトやボランティア活動をしたり、自分の専門と違う業界に入ったり、また、私のように外国へ働きに行ったりする人も多いです。

「異動時期」

皆さんが、4月のある朝、会社や事務所へ行って、昨日まで眺めた同僚たちの席に新しい人が座っていて、一晩で違う世界に変わったと感じた経験があるでしょう。人事異動ということは日本の雇用制度の一つの特徴であると思います。

カナダでは決まった時期に社内に仕事や義務など交換されたりしません。社員と役人の場合は自分で転職することにしない限り、異動されません。席が空いた場合は、社内や役所内で人材募集が行われます。空いている仕事がやってみなければ、希望を出したら、受け入れられるかもしれません。本人の希望がなければ、上司が異動させる可能性がないとは言えませんが、それは非常に珍しいです。学校でも、日本のように違う学校へ行かせたり、学年担任が変えられたりする職業習慣は全くありません。六年生担任の先生なら、希望を出さない限り、または他の学校に申し込まない限り、ずっと六年生担任の先生のままです。

カナダと日本の雇用制度は違うところが多いですね。日本は異動のおかげで様々な経験ができます。そのところが良いのかもしれませんが、異動で遠くへ単身赴任をする人々には辛くて寂しいことだと思います。皆さんはどう思いますか？



「英会話教室」と「中国文化講座」 開催のお知らせ（5月分）

開催予定月日	教室のテーマ	内 容
5月10日(火) 19:00～21:00	料理英会話教室 「パンケーキ作り」	国際協力を考えながら、パンケーキを作ってみましょう！
5月17日(火) 19:00～21:00	中国文化講座 「切り絵教室」	中国の伝統的な切り絵細工に挑戦しましょう！（カッターを各自準備）
5月24日(火) 19:00～21:00	英会話教室 「映画会」	映画「Finding Nimo」を見ながら、現代英語の表現を練習しましょう！



場 所 鬼北町中央公民館 2階視聴覚室
講 師 鬼北町国際交流員 エミリー・ウー
対 象 中学生以上
参加申込 平成17年5月9日(月)
参加費 無料。ただし、5月10日の料理英会話教室は、材料費がかかりますので、1人につき¥500程度実費徴収します。(当日徴収)
問合せ先 鬼北町役場 学校教育課 ☎45-1111 (内線416)